

シンプルで
木の目を生かした
美しい模様。

『日々 こつこつ なれず かたくなに』
「OTAMOKKO」のショップカードには
娘のためにつくった、寄木のボタンに、
そんな言葉が添えられている。



昨年11月に移ってきたばかりの工房。元々うどんなどを作る製麺所だった築70年の建物は、手入れがしっかりされていたのが引越しの決め手。中には、かつての名残も。全く違う用途なのに、この歴史的建造物を変えることなく、自然に馴染んでいるのがおもしろい。



暮らしの基本は道具にあり。
いい道具と、ゆっくり、ながく暮らしたい。
おとなりさんが見つけた、暮らしの道具をご紹介します。



右から、太田憲さん、海さん、本誌監修の「器・生活道具 日和」店主、高田さん。海さんは、前からよく日和さんに行っていた仲良し。

小田原の古い町並みが残る板橋。古い用水路が通る一角に『OTAMOKKO』がある。太田憲さんは、この地で、江戸時代から受け継がれてきた、箱根寄木細工を制作している。憲さんは、今年37歳。今最も注目を集める若手寄木細工作家のひとり。埼玉県出身で、もともとは内装関係の会社員をしていた。しかし、20代前半の時、一生の仕事にできるものに打ち込みたいと一念発起して、会社を退職。かねてから好きだった「ものづくり」の世界へと踏み出す。

暮らしのさまざまな伝統工芸を調べるようになった。そんな日々の中で、箱根寄木細工の技術と出会う。当時のことを、憲さんはこう振り返って話してくれた。「実は、それまで寄木のことを全然知らなかったの、見た瞬間、こんなものがあるんだって驚きました。なんでこんなに手間をかけるんだと（笑）でも、同時にこの技術を身につけて自分の生業にしたいと思いました。地域に根ざした深い歴史のある伝統の技術だということも、自分にとっては大きな魅力に感じました。」

寄木細工をやると決断をした憲さんは、家族と一緒に小田原へ。そして『箱根寄木細工木路』へ入社し、8年間の修行の後、2012年に独立した。翌年2013年には第7回全国『木のクラフトコンペ』で、いきなりグランプリを受賞。また、意気投合した小田原・箱根の若手寄木細工職人たちが『雑木囃子（ぞうきばやし）』というグループをつくり、その活動はすでに日本を飛び出し、パリの国際見本市など、国内外問わず



小田原 萩窪
絵画教室 アトリエ・コネコ

パステル・水彩・油彩・アクリル・セル画など
いろいろな画材で、楽しく自由に描いてみませんか？

こどものクラス
1レッスン 2時間程度
月火水…15:00~19:00
金曜日…15:00~22:00
土曜日…10:00~18:00

月謝
月2回…3500円
月3回…5000円
月4回…6500円

おとなのクラス
1レッスン 3000円
月曜日…10:00~15:00
金曜日…18:00~22:00
土曜日…15:00~18:00

アトリエの
みんなの作品は
ホームページで
見られます！

レッスンの様子は
ブログ
フェイスブックで



検索 アトリエ・コネコ

- ・入会金はありせん
- ・振替レッスン可能
- ・日曜/祝日 お休み

茶色い看板が目印です。
ご見学いただけます。
お電話後にお越し下さい。



アトリエ・コネコ 小田原市萩窪288-19
☎0465-35-1034
講師 藤本 因子（ふじもと よりこ）

